
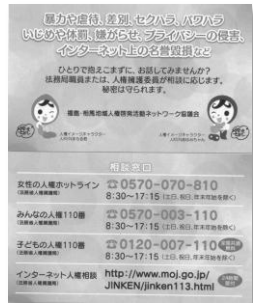


## 平成26年度 男女共同参画ふくしまプラン事業実施報告

基本目標 I 男女共同参画の意識づくり  
 施策の方向性 1 男女共同参画意識の醸成  
 基本的施策 (1) 男女共同参画の理解を促す広報・啓発活動

事業の部局内評価基準

- A 事業を実施し、著しい成果があった  
 B 事業を実施し、成果があった  
 C 事業を実施したが、あまり成果がなかった  
 D 事業を実施したが、成果がなかった

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
① 男女平等、男女共同参画を推進するための法律、制度についての周知徹底	ア 法令等の周知	○女性の権利に関連する国内法令等をだれもが理解しやすい形で広報するなど、その内容の周知に努める。  	市民		通年	男女共同参画センター	実施結果 男女共同参画センター「ウィズ・もとまち」内の図書コーナー及び掲示コーナーにおいて関係各機関等の資料収集・整理を行った。また、講座やセミナー開催時に各種パンフレット・リーフレット等を配置し、広報・周知に努めた。	男女共同参画センター
							事業の評価 A   (B)   C   D	
							今後の課題 引き続き関係機関と連携を図りながら、より効果的な広報方法を検討し、一層広範な周知に努める。	
② 差別や権利侵害に対する相談窓口や救済機関等の情報提供	ア 相談窓口等の情報提供	○権利が侵害された場合の相談窓口や救済機関等の情報提供に努める。  	市民		通年		実施結果 各種パンフレット・リーフレット等を配置した他、市政だより等に相談窓口を掲載する等、情報提供に努めた。	
							事業の評価 A   (B)   C   D	
							今後の課題 情報を整理し、市政だよりの有効活用を図る等、一層の周知に努める。	

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
③ メディア・リテラシーの向上のための支援活動の推進	ア 啓発事業	○ 講座等により、情報そのものを主体的に収集、判断できる能力の育成に努める。  ・ 男女共生講座（第3回） 「大人が考える子どものためのスマホ・インターネット講座」	市民	8 (申込12名)	11月29日	男女共同参画センター	<p>実施結果</p> <p>男女共生講座で「メディア・リテラシー」を取り上げ、受講者が主体的にメディアを読み解き、使いこなす力を高めることができた。前年度と比較し、講座数及び受講者数を減らす結果となってしまった。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>内容については、8割以上の参加者が「満足」以上と回答。継続的な講座の開催と、効果的な広報により受講者の確保に努める。</p>	A	(B)	C	D	男女共同参画センター
		A	(B)	C	D							
○ メディア・リテラシーについて周知する。	市民		通年		<p>実施結果</p> <p>パンフレット等、掲示物の整理を行い、周知に努めた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>より効果的な周知方法を検討する。</p>	A	(B)	C	D			
A	(B)	C	D									
④ ガイドラインの周知	ア 啓発事業	○ 男女共同参画の視点から、市で作成する刊行物において、性別にとらわれない男女の多様なイメージを積極的に取り入れるため、策定したガイドラインを周知する。	市職員		通年		<p>実施結果</p> <p>男女共同参画推進アドバイザー研修会（6月開催）等において、広報紙等の作成の際、男女共同参画の視点を取り入れるよう要請した。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>ガイドラインの見直しを含め、内容について検討するとともに、職員に対して一層の周知を図る。</p>	A	(B)	C	D	
A	(B)	C	D									


施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
④ ガイドラインの周知	ア 啓発事業	○市の刊行物に関するガイドラインを民間等に広く周知するとともに、これを主体的に規範として取り入れることを奨励する。 	市民		通年		実施結果 男女共同参画センター作成のガイドラインを掲示コーナーに配置した。	男女共同参画センター
							事業の評価	
							A   (B)   C   D	
							今後の課題 企業等への郵送物にガイドラインを折り込む等し、市民に広く周知する方策を検討する。	
⑤ 地域の環境浄化	ア 啓発事業	○学校、家庭、地域社会が有害環境浄化活動を推進するなど、青少年を取り巻く地域環境を浄化するための啓発活動を推進する。	補導委員	126	通年	市内	実施結果 街頭補導活動、適宜販売店における有害図書類の適正な区分陳列の呼びかけ、白ポストから有害図書類の回収を実施。 (実施回数) ・補導活動 393回 ・白ポストからの回収 9回	生活課
							事業の評価	
							(A)   B   C   D	
	イ 青少年健全育成推進会議	○各地区の活動により、青少年の健全育成を推進する。	市民		通年	市内	実施結果 7月に県と合同でJR福島駅前で該当啓発活動を行う等、青少年の意識啓発を行った。創立30周年を記念して記念誌の発行、推進大会において特別表彰を実施。	
							事業の評価	
							A   (B)   C   D	
							今後の課題 より効果的な啓発方法について検討する。	

基本目標 I 男女共同参画の意識づくり  
 施策の方向性 1 男女共同参画意識の醸成  
 基本的施策 (2) 性別による固定的な役割分担を反映した社会制度や慣行の見直し

事業の部局内評価基準  
 A 事業を実施し、著しい成果があった  
 B 事業を実施し、成果があった  
 C 事業を実施したが、あまり成果がなかった  
 D 事業を実施したが、成果がなかった


施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員(人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
① 男女共同参画に関する認識を深めるための広報・啓発	ア 啓発事業	○ 職場、家庭、地域等あらゆる分野における慣習・慣行について、性別の偏りにつながるおそれのあるものについて、広くその見直しを呼びかける。 ・ 男女共同参画週間（6月23日～29日）に合わせポスター等による啓発を実施。	市民		6月	男女共同参画センター及び各支所等	実施結果 啓発ポスターを作成し、各市施設に掲示するとともに、市ホームページへ掲載する等、啓発を行った。また、「しのぶびあ37号」において、福島市男女共同参画に関する意識調査の一部結果を公表し、男女の固定的な役割分担について「あなたはどう思いますか？」等の問題提起を行った。	男女共同参画センター
							事業の評価 A   (B)   C   D	
						今後の課題 福島市男女共同参画に関する意識調査の結果からも、職場、家庭、地域等における市民の性別役割分担意識は、未だに根強いものとなっている。意識の変革に向けて、今後も効果的な媒体を活用し、一層の啓発に努める。		
	イ 情報の収集と提供	○ 男女共同参画に関する認識を深めるための情報を収集し、提供する。	市民		通年	男女共同参画センター	実施結果 男女共同参画に関する新聞記事の収集提供や男女共同参画関連図書の実、貸し出しを行った。	
							事業の評価 A   (B)   C   D	
						今後の課題 引き続き情報収集、整理に努め、利用促進を図る。		





施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
① 男女共同参画に関する認識を深めるための広報・啓発	イ 情報の収集と提供	<p>○女性のおかれた状況を客観的に把握できる統計情報を収集し、提供する。</p> 	市民		通年	男女共同参画センター	<p>実施結果</p> <p>国（平成26年度版男女共同参画白書等）や県の各種調査結果、各市の情報紙などを収集し、男女共同参画センター内の図書コーナー及び掲示コーナーに配置、貸出を行うなど情報提供に努めた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1" data-bbox="1520 598 1968 638"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>収集した統計情報を、より広範に提供するための方策の検討。</p>	A	(B)	C	D	男女共同参画センター
	A	(B)	C	D								
ウ 市政情報提供の充実と強化	<p>○市政だよりや新聞、ラジオ、テレビ、携帯電話、インターネットなどを活用するとともに、広報情報制度等により、市民の意見聴取の場をつくりながら、親しみやすく、誰もが分かりやすい市政情報の充実に努める。</p>	市民等		通年		<p>実施結果</p> <p>ツイッター等の発信を継続するとともに、広報情報モニターや市民カメラマンによる意見と情報の収集を行った。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1" data-bbox="1520 1125 1968 1165"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>意見を市広報媒体へ反映し、効果的な広報につなげていく。</p>	A	(B)	C	D	広報広聴課	
A	(B)	C	D									

基本目標 I 男女共同参画の意識づくり  
 施策の方向性 2 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進  
 基本的施策 (1) 男女共同参画の視点に立った家庭教育支援の充実

事業の部局内評価基準  
 A 事業を実施し、著しい成果があった  
 B 事業を実施し、成果があった  
 C 事業を実施したが、あまり成果がなかった  
 D 事業を実施したが、成果がなかった

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員(人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
① 意識改革をめざす啓発活動の推進	ア 情報紙の発行	○男女共同参画について理解を深めてもらうため、男女の市民参画による情報紙を発行する。  ・男女共同参画情報紙「しのぶぴあ」37号の発行  	市政日より折込による全戸配布		3月		実施結果	男女共同参画センター
							平成26年7月に実施した「福島市男女共同参画に関する意識調査」の結果(①日頃の様々な場面における男女平等意識②女性が仕事を続けるために必要なこと等)を掲載し、男女共同参画に関する市民の多様な意識を紹介した。 また、花木農家である花見山三代目園主夫妻に取材を行い、山の維持・管理を通しての家族や地域との協力、男女共同参画に関する考えを紹介した。	
							事業の評価	
							(A)   B   C   D 今後の課題 内容を充実し、男女共同参画について、一層効果的な啓発に努める。	

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
① 意識改革をめざす啓発活動の推進	イ 情報の収集と提供	<p>○男女共同参画に関する情報を収集し、多様な情報を提供する。</p> 	市民		通年	男女共同参画センター	<p>実施結果</p> <p>男女共同参画に関する新聞記事等の収集・提供や男女共同参画関連図書の実、貸し出しを行った。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>ⓑ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>情報収集、整理に努め、利用促進を図る。</p>	A	ⓑ	C	D	男女共同参画センター
	A	ⓑ	C	D								
ウ 講演会、講座等の開催	<p>○男性と女性がともに力を合わせ、その個性と能力を十分に発揮し、様々な分野においていきいきと活躍できる地域社会の実現を目指し開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男女共生セミナー ＜オープニング＞ 福島高等学校ジャズ研究部によるジャズ演奏 ＜講演＞ 「明日も素敵に輝いて生きる～仕事とプライベートを充実させる生き方～」 講師：麻木 久仁子 氏</li> <li>トップセミナー  講演「『日本でいちばん大切にしたい会社』著者に聴く 働くみんなが幸せな会社」 講師：坂本 光司 氏</li> </ul>	<p>市民</p> <p>370 (申込550名)</p> <p>1月31日</p> <p>福島テルサ</p>	<p>実施結果</p> <p>＜共生セミナー＞ 仕事とプライベート・育児をともに楽しみながら充実させる生き方について講演を行い、ジャズ演奏と併せて多くの来場者に元気と感動を届けることができた。 ＜トップセミナー＞ 年齢や性別、障がいの有無等に捉われない多様な人材を確保・育成することの大切さと、そのことが企業や社会全体にもたらす利益について紹介があり、「本物の経営」とは何かについて学んだ。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>Ⓐ</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>＜共生セミナー＞ 男性と若年層の参加者が少なかったため、講師選定や広報手段についてさらに検討したい。 ＜トップセミナー＞ 男性や経営者層の参加割合が高く、内容も好評。引き続きより多くの参加者の取り込み。</p>	Ⓐ	B	C	D	事業主等				
Ⓐ	B	C	D									

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
① 意識改革をめざす啓発活動の推進	エ メッセージ作品募集事業	<p>○男女共同参画意識の醸成のため、メッセージ作品の募集・表彰を行う。</p> 	市民	1,067点	4月～7月	男女共同参画センター アオウゼ	実施結果	男女共同参画センター
							<p>多数の応募があり、36点の表彰を実施した。男女共生セミナー等、多くの市民が参加する事業開催時に作品を展示し、併せて、入賞作品を市ホームページ上へ掲載するなど、男女共同参画意識の醸成と啓発に努めた。</p>	
							事業の評価	
							<table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>	
(A)	B	C	D					
今後の課題	<p>事業の継続的な実施と、より多くの参加者の取り込み、入賞作品の活用方法について検討する。</p>							
② 多様な学習機会の提供	ア 活動の場の提供	<p>○男女共同参画を進める団体、グループ等に活動の場と機会を提供し、活動が充実するよう支援する。</p>	男女共同参画センター 使用団体等	登録団体 (52団体)	通年	男女共同参画センター	実施結果	男女共同参画センター
							<p>男女共同参画センター利用登録団体に対し、無料で会議室を貸し出すとともに、男女共同参画に関する刊行物、資料の提供等を行った。また、女性団体連絡協議会及び使用団体連絡協議会で構成する実行委員会を組織し、「男女共生セミナー」を開催した。</p>	
							事業の評価	
							<table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>	
(A)	B	C	D					
今後の課題	<p>今後も各団体と連携し、活動の場の提供や支援を行うとともに、男女共同参画を積極的に推進する新規のNPO法人等とも交流を深めながら、更なる活動の充実と機会の提供に努める。</p>							



施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
② 多様な学習機会の提供	イ 家庭教育学級・講座の開催	○男女共同参画の視点に立った家庭教育が行われるよう学習内容の充実や、開催日時等を工夫し、働く女性や男性を含めた参加者の拡大を図る。  ・家庭教育学級、講座の充実	成年男女	823	通年	各学習センター	実施結果 各学習センターにおいて学級・講座を開設。一部では男性の参加を図るため土・日曜日に開催した。  事業の評価 A   (B)   C   D 今後の課題 男性の参加促進。	生涯学習課
	ウ 語り合いネットワーク推進事業	○学校、PTA主催の男女共同参画の視点に立った子育てに関する学習に対し情報を提供するとともに、講師を派遣し支援する。	PTA会員等	1,826	通年	幼稚園 小学校 中学校	実施結果 各学校PTA教養講座等で実施する家庭教育関係事業に対し講師の紹介、謝金の支援等を行った。  事業の評価 (A)   B   C   D 今後の課題 広報活動の推進、参加団体の拡充。	
	エ ヤングカレッジ・少年教室の開催	○青少年を対象にした学級等において、男女平等観に立脚した内容を取り入れる。  ・ヤングカレッジ ・少年教室	青年男女 小・中学生	215 1,295	通年 通年	各学習センター	実施結果 各学習センター実施の各学級事業の中で男女共同の視点に立った指導を行った。  事業の評価 A   (B)   C   D 今後の課題 男女共同参画社会に関する講座の開催検討。	

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
② 多様な学習機会の提供	オ すまいるあっぷ 福島運動あそび	○運動遊びの体験を通して、親子、家族のスキンシップを高め、福島での健やかな子育てと家庭教育支援を図る。	3歳～小学4年生の親子	685	年9回	各地域 体育館	<p>実施結果</p> <p>7回実施した親子運動あそびでは、リピーターとなる親子も多く、アンケートでは「楽しくためになる」「家庭でもやってみたい」との声が聞かれた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>指導者はさらに指導力を身につけ、家庭・地域へ「運動あそび」の展開を図る。</p>	(A)	B	C	D	児童福祉課
	(A)	B	C	D								
<b>新規事業</b>	指導者											
③ 相談体制の充実	ア 男女共同参画に関する相談事業	○男女共同参画に関する諸問題について関係機関と連携を取り、電話や来所による相談の対応を行う。	市民		通年	男女共同参画センター	<p>実施結果</p> <p>電話相談を他部署と連携の取りやすい本庁（児童福祉課）での受付に一本化し、男女共同参画センターでの来所相談を予約制とした。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>相談者が相談しやすい環境の整備と、相談窓口についての周知。</p>	A	(B)	C	D	男女共同参画センター
	A	(B)	C	D								
イ すこやかテレホン相談事業	○青少年及び保護者の悩み事などの電話相談を行う。	青少年等	311	通年	青少年センター	<p>実施結果</p> <p>青少年や保護者の悩み等について相談員が適切な助言や指導を行った。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>相談者に偏りがあるため、事業の周知活動強化。</p>	A	(B)	C	D	生活課	
A	(B)	C	D									

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
③ 相談体制の充実	ウ 家庭教育相談事業の充実	○ 幼児、小学生、中学生の保護者の家庭生活や教育上の諸問題について、電話や来館による随時相談の対応を行う。	市民	—	通年	各学習センター	<p>実施結果</p> <p>市民からの相談に応じ、適宜実施した。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>ⓑ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>相談事業の周知、活用促進。</p>	A	ⓑ	C	D	生涯学習課
A	ⓑ	C	D									

基本目標 I 男女共同参画の意識づくり  
 施策の方向性 2 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進  
 基本的施策 (2) 男女共同参画の視点に立った学校教育の推進

事業の部局内評価基準

- A 事業を実施し、著しい成果があった
- B 事業を実施し、成果があった
- C 事業を実施したが、あまり成果がなかった
- D 事業を実施したが、成果がなかった

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
① 男女平等の意識に立つ学習指導の充実	ア 教科指導の充実	○教師、児童・生徒のかかわりを大切に、男女協力による学習指導の実践に努める。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	<p>実施結果</p> <p>各学校の教育目標の具現化に向けて教科の特性を踏まえた指導がなされた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>今後も継続して取り組んでいく。</p>	(A)	B	C	D	学校教育課
	(A)	B	C	D								
イ 道徳教育の充実	○男女の信頼、協力、人権尊重を大切にされた道徳教育の実践に努める。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	<p>実施結果</p> <p>道徳の授業だけでなく、教育活動全体の中で男女の信頼、協力、人権を尊重した実践が図られた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>今後も全体計画等への位置づけを明確にし、さらに教育活動全体で実践を図っていく。</p>	(A)	B	C	D		
(A)	B	C	D									

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
① 男女平等の意識に立つ学習指導の充実	ウ 特別活動の充実	○男女の共同、相互理解を深める特別活動の実践に努める。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	<p>実施結果</p> <p>各領域ごとにその特質を踏まえた実践が行われた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>今後も継続して取り組んでいく。</p>	(A)	B	C	D	学校教育課
	(A)	B	C	D								
エ 総合的な学習の時間の充実	○男女共同による「生きる力」を育む総合的な学習の時間の実践に努める。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	<p>実施結果</p> <p>各学校、各学年ごとに協働しながら実践された。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>今後も継続して取り組んでいく。</p>	(A)	B	C	D		
(A)	B	C	D									
② 教科、領域等における人権教育の充実	ア 教科における人権教育の充実	○保健体育科、技術・家庭科等の学習を通して、男女の相互理解、思いやり等、人権尊重、男女平等の精神を養う。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	<p>実施結果</p> <p>性教育や家庭生活等の内容において人間尊重、男女平等の視点から様々な学習活動が展開された。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>今後も具体的な場面を想定した指導を展開していく。</p>	(A)	B	C	D	学校教育課 保健体育課
(A)	B	C	D									

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
② 教科、領域等における人権教育の充実	イ 道徳、特別活動、総合的な学習の時間における人権教育の充実	○道徳、特別活動、総合的な学習の時間での指導を通して、人権尊重、男女平等の精神を養う。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	実施結果	学校教育課
							人権尊重や男女の思いやり等を教育課程に位置づけ計画的に指導した。	
							事業の評価	
							(A)   B   C   D	
今後の課題	各校で重点価値項目として、今後も人権尊重や男女平等等の精神を重点的に指導していく。							
③ 性別にとらわれない進路指導や生徒指導の充実	ア キャリア教育の充実	○学校教育全体を通して、系統的な進路指導の展開に努め、性別にとらわれない職業意識の拡充を図る。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	実施結果	
							「中学生ドリームアップ事業」や「ふくしまふれあい夢プラン」の実践等により、各校でキャリア教育の充実が図られた。	
							事業の評価	
							(A)   B   C   D	
今後の課題	目指す子ども像を確認し、ねらいを明確にして活動の充実を図っていく。							

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
③ 性別にとらわれない進路指導や生徒指導の充実	ア キャリア教育の充実	○小・中学校における連続した児童・生徒の育ちを見取り、職業観の育成に努める。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	<p>実施結果</p> <p>小学校での「ふくしまふれあい夢プラン」中学校での「中学生ドリームアップ事業」において9年間の系統性をもたせた指導を行い、様々な交流活動や職場体験が実践された。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>今後もねらいを確認しながら充実を図っていく。</p>	(A)	B	C	D	学校教育課
	(A)	B	C	D								
イ 教育相談の充実	○性に関する指導や交友関係等きめ細やかな相談体制の確立と指導の充実を図る。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	<p>実施結果</p> <p>カウンセラーやハートサポート相談員等の配置により子どもの悩みにきめ細かに対応できた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>全教員が心のケアについて理解を深め共通理解のもと対応していく。</p>	(A)	B	C	D		
(A)	B	C	D									

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
④ 学校生活全般における男女共同の具体的な推進	ア 男女共同意識に立つ学校生活の充実	○男女共同による責任ある行動がとれる子どもの育成を目指す指導の充実を図る。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	<p>実施結果</p> <p>児童会・生徒会を中心に男女共同による活動が推進された。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>今後も継続して取り組んでいく。</p>	(A)	B	C	D	学校教育課
	(A)	B	C	D								
	イ ボランティア教育の推進	○男女共同意識とともに、ノーマライゼーション意識を育む特別活動や総合的な学習の時間等でのボランティア活動の充実に努める。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	<p>実施結果</p> <p>各学校で総合的な学習の時間を中心にボランティア活動を教育課程に位置づけ実践した。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>今後も継続して取り組んでいく。</p>	(A)	B	C	D	
(A)	B	C	D									
ウ 家庭への啓発	○男女共同意識、性教育等について家庭への啓発に努める。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	<p>実施結果</p> <p>学校便りの発行等により家庭への啓発を図った。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>今後も地域も含め啓発をしていく。</p>	(A)	B	C	D		
(A)	B	C	D									




施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
⑤ 教職員研修における男女共同の推進	ア 子育て支援職員等の研修	○職員研修により男女平等意識の高揚に努めるとともに、子育て支援に関わる職員等の資質向上を図る。  ・子育て支援者研修会 講演：「子どもの育つ力を育てる」 講師：元東洋英和女学院大学教授 池田裕恵氏	子育て支援に関わる職員等	100	2月8日	保健福祉センター	実施結果 参加者からは「改めて考え、気づくことができた」「子どもに寄り添って一人ひとりの幼児理解に努めたい」などの感想が寄せられた。  事業の評価 ① A   B   C   D 今後の課題 特になし。	児童福祉課
	イ 校内研修の充実	○校内研修により教職員の男女共同意識の高揚に努める。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	実施結果 サービス倫理委員会やその他の校内研修を活用して啓発を図った。  事業の評価 ① A   B   C   D 今後の課題 今後も研修を通して学校における共同意識を醸成していく。	学校教育課
	ウ 校内組織の充実	○男女共同参画意識を高める校内組織の充実と活性化を図る。	小・中・特別支援学校教員	1,485	通年	各小・中・特別支援学校	実施結果 サービス倫理委員会やその他の組織を中心として意識を高めた。  事業の評価 ① A   B   C   D 今後の課題 今後もサービス倫理委員会等を活用して組織的に職場の健全化を図る。	



基本目標 I 男女共同参画の意識づくり  
 施策の方向性 2 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進  
 基本的施策 (3) 男女共同参画の視点に立った生涯学習の推進

事業の部局内評価基準

- A 事業を実施し、著しい成果があった
- B 事業を実施し、成果があった
- C 事業を実施したが、あまり成果がなかった
- D 事業を実施したが、成果がなかった

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
① 各種研修会における男女共同参画教育の推進	ア 男女共同参画講座、女性講座等の開催	○働く女性や男性のため、開催日時等の工夫を行うなど、学級、講座等の学習機会の提供を図るとともに、男女共同参画の視点に立った学習内容を取り入れる。  ・男女共生講座 第1回 「これだけは知っておきたい！女性のための法律基礎講座」  第2回 「新米お父さんのための子育てイクメン講座」  第3回 「大人が考える子どものためのスマホ・インターネット講座」(再掲)	市民	15 (申込21名)	8月9日	男女共同参画センター	実施結果 <男女共同参画センター> 男女共生講座を3回開催し、市民があらゆる分野に参画するための知識の習得と能力の向上に寄与した。また、いずれの講座においても8割以上の参加者が、内容について「満足」以上と回答した。	男女共同参画センター 生涯学習課
			成人女性ほか	11 (申込11名)	9月6日	男女共同参画センター	<生涯学習課> 防災など身近な課題に焦点をあてて事業を実施した。	
			成人女性ほか	8 (申込12名)	11月29日	男女共同参画センター	事業の評価 A   B   C   D	
			成人女性ほか	延べ399	10月～11月	アオウゼ	今後の課題 <男女共同参画センター> 講座内容の一層の充実と効果的な広報に努め、参加者が少ない男性と若年層の参加を促す。  <生涯学習課> 参加者の固定化がみられる事から周知方法を工夫し若い層に参加を促す。	

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
② 男性の地域生活、家庭生活を支援する学習機会の提供	ア 男女共同参画 前講座の開催	○関係機関と連携し周知を図り、地域等で開催する男女共同参画に関する学習会へ講師を派遣する。  ・「異性への理解を深めよう」 講師：白鳥 クニ子 氏  	福島第一中学校	200 (第2学年)	11月20日	福島第一中学校	実施結果 市ホームページへの情報掲載やチラシによる講座案内送付等、積極的に広報を行った結果、教育機関から申込があり、男女共同参画に関する学習の機会を提供することができた。  事業の評価 A   (B)   C   D  今後の課題 今後も多様な機関と連携しながら一層の広報を行い、男性を中心に構成される団体等への講師派遣も推進する。	男女共同参画 センター
	イ 成人対象の学級、講座等の開催	○学習センターの土日開館により、開催日時を工夫し、男性の参加を呼びかけていく。  ・ 市民学校等  ・ 高齢者学級 (28学級)	成人男女  成人男女	1,720	通年  通年	各学習センター  各学習センター	実施結果 各学習センターにおいて学級・講座を開催。一部では男性の参加を図るため土・日曜日に開催した。  事業の評価 A   (B)   C   D  今後の課題 男性が更に参加しやすい事業の開催。	生涯学習課
	ウ 家庭教育学級、講座等の開催	○学習センターの土日開館により、開催日時を工夫し、男性の参加を呼びかけていく。	子どもを持つ親	823	通年	各学習センター	実施結果 各学習センターにおいて学級・講座を開催。一部では男性の参加を図るため土・日曜日に開催した。  事業の評価 A   (B)   C   D  今後の課題 参加周知の拡充。	

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
③ 職場内研修への支援	ア 男女共同参画 前講座の開催	<p>○男女共同参画について理解を深めてもらうため、関係機関と連携し周知を図り、企業が行う研修会へ講師等を派遣する。</p> <p>・「女性の活躍推進について、管理職に求められる意識改革」</p> <p>講師：二瓶 由美子 氏</p> 	事業所等  福島キャノン(株)	52 (管理職)	通年  8月21日	福島キャノン(株)	<p>実施結果</p> <p>市ホームページへの情報掲載やチラシによる講座案内送付等、積極的に広報を行った結果、地域の企業から申込があり、女性の活躍推進と管理職の意識改革に寄与する研修を行うことができた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>今後も多様な機関と連携しながら一層の広報に努め、一社に限らずより多くの企業に充実した職場内研修を開催いただけるよう、継続して講師派遣を行う。</p>	A	(B)	C	D	男女共同参画センター
	A	(B)	C	D								
イ 啓発資料の作成	<p>○男女共同参画を推進するための資料を作成し配布する。</p> 	市民		通年		<p>実施結果</p> <p>上記③アにおける企業研修会や男女共同参画推進アドバイザー研修会の際に、男女共同参画ふくしまプランのダイジェスト版を配布し、啓発に努めた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>より多くの企業に研修会等で活用いただけるよう、配布方法を検討する。</p>	A	(B)	C	D		
A	(B)	C	D									

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
④ 社会教育指導者の男女共同参画研修	ア 各種リーダー研修会	○女性学級や女性団体等の各種リーダー研修会に、男女共同参画の視点に立った学習内容を取り入れる。  ・女性学級リーダー研修会 ・女性学級交歓懇談会  ・生涯学習関係担当職員研修	女性学級生成人女性 女性学級生成人女性  社会教育関係担当職員	10 62	9月 10月  通年	会津若松市 市内	実施結果	生涯学習課
							地域の女性リーダー育成と、他地域の女性団体との交流の機会を設け、リーダーとしてのスキルアップを図った。	
							事業の評価	
							A   (B)   C   D	
今後の課題	学習成果を実感し、地域や家庭に還元できるような仕組みづくり。							
⑤ 社会教育施設の整備	ア 学習センターの整備拡充	○学習センターの整備拡充に努める。  ・学習センターの維持管理			通年	各学習センター	実施結果	
							学習センター機能の維持・向上を図るため施設整備を行った。	
							事業の評価	
							A   (B)   C   D	
今後の課題	施設老朽化への対応と利用促進。							